

明が行われ、その後回答することになった影響は無視できない。しかし、マウスピースによる治療は、全ての症状に対して、選択された治療法の3位以内に入っており、担当医からの有効性の説明があったにしても、治療法として患者にかなり周知されていることを思わせる。また、主訴として最も多かったことも影響していると思われるが、雑音に対する経過観察以外の治療法を選択が多岐にわたっていること、Clinical Question(CQ)収集調査においても、歯科医である参加者からも雑音に対する治療法を選択がいくつか選択されている⁴⁾ことから、この結果は、患者自身および歯科医の抱く雑音消失への期待感の現れとも考えることができる。したがって、雑音に対する見解の提出と啓発活動の必要性が学会に示されたとも考えられた。さらに、担当医が説明したとは思われない整体が31例選択されていたことは、緒言に述べたインターネット調査結果にも表れたように、一般集団の中において、整体治療が一定の位置を占めていることを思わせる。また、自由記載による治療法の回答の中には、全身に関係する治療法がいくつか記載されており、これはインターネット上などに氾濫する「全身の問題がなんでも治ります」式の広告媒体による広報活動の影響であることを思わせ、この点もまた、学会による啓発活動の必要性を思わせる。本研

究ではさらに対象をどのような患者とするか、調査方法はアンケートではなく、個別面接など他の方法も検討する必要があると考えられた。

3. 新聞広告での募集

新聞広告への参加者での調査は患者の選択にばらつきが生じないことを期待して行ったものであるが、実際に参加希望し、かつインタビューに出席するとなると、仕事との関係もあるのか、男性は少なく、平均年齢が高くなってしまった。参加した患者の中に現在症状が消えている元患者においては、臨床への疑問は少なく、これら患者は新聞に応募したという積極性がインタビューで現れなかった。あるいはたまたま軽い症状の方たちが多く、色々な治療を受ける必要がなかったことも関係しているのかもしれない。さらに治療を受けた全ての患者が、担当医(大学附属病院を含め)からの病態説明と治療法選択の理由説明を受けていないということが治療に対するインフォームドコンセントの欠落として明確になった。その結果かもしれないが、患者の病識の乏しさが目立ち、学会がもっと啓発活動を強化すべきと考えられた。

E. 結論

3つの研究を通して、それぞれの方法で集まる疑問に共通性と、反対にそれぞれ独自の疑問や問題点がみつかった。これらは対象者の選択方法と質問形式によ

ると考えられた。そのためどのような構造化面接あるいは質問票が適切なのかは明確には出来なかったが、臨床医が患者に対して対応しなければならない問題点がいくつか見いだすことが出来た。

F. 参考文献

1)中山健夫。「根拠に基づく診療ガイドライン」の適切な作成・利用・普及に向けた基盤整備に関する研究：患者・医療消費者の参加推進に向けて。平成16年度 総括・分担報告書。厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業。佐藤りか：PECOのPは”わたし”一患者を主語とした『問題定式化』の試み。255-258。2005。

2)湯浅秀道，木野孔司，星佳芳，杉崎正志，覚道健治。顎関節症ガイドラインにおける“Patient Question”の把握にインターネットを利用するための予備調査。日顎誌2007; 19: 227-32。

3) ネットレイティングス株式会社。データクロニクル 2006・ファクトシート。

http://csp.netratings.co.jp/nnr/PDF/Newsrelease11072006_J.pdf

2009年10月21日アクセス。

4)杉崎正志，覚道健治，木野孔司，湯浅秀道，江里口彰，平田創一郎。顎関節症診療ガイドラインにおける“Clinical Question”の系統的把握のための一般開業歯科医師へのアンケート調査。日顎誌20(2):157-165,2008。

G. 研究発表

1. 湯浅秀道，木野孔司，星佳芳，杉崎正志，覚道健治。顎関節症ガイドラインにおける“Patient Question”の把握にインターネットを利用するための予備調査。日顎誌2007; 19: 227-32。

2. 木野孔司，杉崎正志，湯浅秀道，覚道健治。顎関節症の診療ガイドラインにおける“Patient Question”の系統的把握のための患者・医療消費者予備的アンケート。日顎誌2010;投稿中。

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表1 アンケート票を示す

以下の質問に関して、右の口に数字・番号・回答をお書き下さい。

質問1：あなたの年齢は？

質問2：あなたの性別は？ ①女 ・ ②男

質問3：当診療所から自宅までの時間 ①一時間未満 ・ ②一時間以上

質問4：ご自分のアゴの問題で以下のなかで最も当てはまるものは？ (複数可)

- い①口が大きく開かない
- ②口を開け閉めするとあごが痛い
- ③固い食べ物を食べるとあごが痛い
- ④口を開け閉めすると音がする
- ⑤あごのまわりの筋肉が痛い
- ⑥その他 _____

質問5：ご自分で選んだ質問4の番号に対して、以下の治療法の中でどれに
 関心を持ちますか？ ご自分の症状に合わない治療法も記載されています。
 また、実際に、下記の全ての治療が全ての患者さんに必要ではありません。
 診療費の安い順に記載してあります。
 回答の記載方法は、下記に書いてあります。

- ①経過観察のみ
- ②安静にする(極端に固いものを食べないようにするなどの方)
- ③口を開ける練習
- ④電気刺激マッサージ
- ⑤かみ合わせの歯を削って調整す
- ⑥湿布(あごの筋肉に貼るなど)
- ⑦薬を飲む(痛み止め・サプリメント)
- ⑧矯正歯科治療(歯並びを大きく治します)
- ⑨口の中に装置を入れる(マウスピース)
- ⑩あごの関節のところに注射する
- ⑪手術(入院して関節の手術を行う)

ここでは問4で選んだ番号と、それに対して問5で選んだ番号を例のように書いてください。

例：質問4 ③、質問5 ④
 質問4 ②、質問5 ④
 組み合わせの数は、
 1つでもかまいません。

質問4	、	質問5
質問4	、	質問5
質問4	、	質問5
質問4	、	質問5
質問4	、	質問5

質問6：質問5以外に、こんな治療法があったら、受けてみたいという治療法はありますか？

----ご協力ありがとうございました。----

回収ボックスに入れてください

表2 患者インタビュー内容を示す

1. インタビュアーの自己紹介

2. ブリーフィング

- ・インタビューの趣旨, 目的, プライバシー保護, その他手続き説明.

説明文書に目を通していただいてから,

- ① 録音していること, 別室で関係者が観察していることを説明
- ② 60分以内に終了すること, それ以上になる場合は改めて延長の了解を求める.
- ③ 口頭にて著作権が学会に属することを説明.

- ・質問を受ける.

- ・面接承諾書への署名

3. 顎関節症とはどのような病気と考えているか

4. いつ頃, どのような症状が始まり, どのような治療を受け, その結果どうなったか

- 1) 発症時期
- 2) 症状
- 3) 病態と治療について受けた説明
- 4) 治療
- 5) 経過
- 6) 現在の状態

5. 受けた治療に満足しているか

- 1) 満足
 - 2) 不満
- ・不満原因:

6. 構造化PQ

- 1) どのような症状に: 雑音, 関節痛, 筋痛, 咬合痛, 開口障害, その他(自由回答)
- 2) どのような治療法: 経過観察, 安静, 開口訓練, マッサージ, 咬合調整, 湿布, 鎮痛薬, 電気刺激マッサージ, 整体, マウスピース, 関節注射, 手術, 歯列矯正で咬みあわせを正す, 補綴治療で咬みあわせを正す, ヨガ, その他(自由回答)
- 3) その治療法についての情報をどこから入手したか

7. 将来どのような治療があったらいいと思うか

8. ガイドライン作成に医療消費者側委員として参加を希望するか

図2. インタビュー会場とその実際



厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
分担研究報告書

（社）日本補綴歯科学会『歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン
2008』の患者向けガイドライン作成に向けた
ペイシェント・クエスチョンの収集
－患者アンケートによる収集－
報告書

研究代表者 石井拓男（東京歯科大学社会歯科学研究室 教授）

研究協力者 窪木拓男（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授，
（社）日本補綴歯科学会 診療ガイドライン委員会 委員長）
松香芳三（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授，
（社）日本補綴歯科学会 診療ガイドライン委員会 幹事）
木村 彩（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助教）

研究要旨：「歯の欠損の医療消費者向け診療ガイドライン」の作成を目的に，歯の欠損やその補綴治療に関する患者側の治療に対する疑問（Patient Question(PQ))を医療消費者からの直接アンケートなどを通じ把握することとした。岡山県老人クラブ連合会主催の女性リーダー研修会や健康づくり介護予防リーダー養成講習会の参加者，ならびに岡山大学病院補綴科における患者群を対象に，歯の欠損やその補綴治療に関する疑問についてのアンケート調査を行ったところ，37の一般市民や患者の疑問を収集することができた。これらは，一般的なクリニカル・クエスチョン（Clinical Question(CQ))の下位分類に用いられる「頻度」，「原因・リスクファクター」，「診断」，「予後」，「治療」，「コスト」，「不確定状況での意思決定」の内容に加えて，「セルフケア」，「新たな技術，治療」，「材料」，「歯科医療の構造，システム」，「予防」のPQ特異的な内容を含むことが明らかとなった。

A. 研究目的

（社）日本補綴歯科学会では，日本歯科医学会の指針である「歯科診療ガイドラインのあり方について（歯科診療所における歯科保健医療の標準化のあり方等に関する検討会報告書，2008）」に準じ，

「歯の欠損」における診察，検査，治療計画の意志決定に焦点を当てたガイドラインの策定を目指して「歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン 2008」を作成した。本ガイドラインの作成においては，まず学会員から広く，クリニカル・クエ

スチョン (CQ: 臨床的疑問) を収集した。それを元に複数の電子データベースを検索し、エビデンス (文献) を系統的・網羅的に収集し、GRADE システムまたはデルファイ法を用いて診療ガイドライン原案を作成した。そして分野ごと約 10 名の専門家によるコンセンサスグループを形成し、各 CQ に対する診療ガイドラインの記述を検討してもらい、最終的に診療ガイドライン部会でまとめた。

このように、CQ を元に診療ガイドラインを作成することは、多くの患者によりよい医療を提供するために非常に重要である。しかし最近では、CQ という医療者が選んだ診療上の疑問だけではなく、患者側の治療に対する疑問 (Patient Question(PQ))、すなわち「ある疾患を持つ私が、ある治療を選んだ場合、選ばない場合/他の治療を選んだ場合に比べて、どうなるのか」といった疑問を加味する重要性が強く指摘されている。しかし、これまで本邦で作られた診療ガイドラインは CQ から作成されたもののみで、PQ をもとに作成された「医療消費者向け診療ガイドライン」はほとんど存在しない。そこで (社) 日本補綴歯科学会では、診療ガイドライン委員長が所属する岡山大学を中心として「歯の欠損の医療消費者向け診療ガイドライン」の作成を目的に、歯の欠損やその補綴治療に関する PQ を医療消費者からの直接アンケートなどを通じ把握することとした。

B. 研究方法

1) 研究対象

平成 21 年 12 月に、岡山県老人クラブ

連合会主催の女性リーダー研修会や健康づくり介護予防リーダー養成講習会に参加している 65 歳以上の高齢者に以下に示すアンケートの記入を依頼した。アンケートは記入後に、郵送してもらい回収した。

平成 22 年 1 月 20 日から 2 月 3 日の間に、岡山大学病院補綴科 (クラウンブリッジ) を受診した全患者に以下に示すアンケートの記入を依頼した。同意が得られた患者には、診療室でアンケートに記入するか、もしくは後日郵送にて回収した。

2) アンケート

使用したアンケートは、補綴治療に関する疑問や口腔内の困り事についての記述式質問と、口腔内の欠損の状態、補綴治療経験の有無、生活関連および口腔関連 QOL についてのチェック式質問を含む (添付資料 1)。生活関連および口腔関連 QOL の測定には、岡本らが Locker からの OHIP をもとに作成し、十分な信頼性、妥当性を確認した質問票を用いた²⁾。本質問票は、口腔機能と精神心理の 2 つのサブスケールで構成され、それぞれ 16 項目、12 項目の質問からなる自己記入式質問票である。各質問項目は、5 段階のリッカートスケールで評価される。5 段階評価は、「頻繁にあった」を 0 点、「全くなかった」を 4 点とし、QOL が損なわれると得点が低くなるように点数換算された。なお、本調査は岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学研究倫理審査委員会の承認を得て行った (承認番号 313)。

3) 「補綴治療に関する疑問」に関する記述項目の解析方法

「補綴治療に関する疑問」に関する記述項目には、歯科治療への感想や希望も多く含まれていた。これらに対しては、中山が定めた Clinical Question のカテゴリー（表 1）³⁾に基づいて、「頻度」、「原因・リスクファクター」、「診断」、「予後」、「治療」、「コスト」、「不確定状況での意思決定」の 7 項目に分類し、そのどれにも当てはまらないものを「その他」とした。さらに「その他」の質問は、その内容にしたがって細分類を行い、新規カテゴリーを作成した。その結果、「セルフケア」、「新たな技術、治療」、「材料」、「歯科医療の構造、システム」、「予防」の 5 つのカテゴリーが追加された。

研究期間中、患者の個人情報に記載された質問票は、鍵のついた棚に保管した。また、患者の基礎データや質問票のデータを入力したエクセルファイルは、起動時にパスワードを必要とするコンピューターに保管し、患者の個人情報を外部から保護した。

C. 研究結果

1. 対象患者基礎情報

- 1) 岡山県老人クラブ連合会主催の女性リーダー研修会や健康づくり介護予防リーダー養成講習会の参加者

「補綴治療に関する疑問」、「口腔内の困り事」についての記述式質問に回答が認められたのは 26 名（平均年齢±標準偏差：74.3±7.2 歳，男/女/性別不明：4/20/2

名）であった。23 名に補綴治療を受けた経験があり、25 名に抜歯経験があった。平均欠損歯数は 11.6 本であった。また、平均口腔関連 QOL 得点は 47.5±10.7 点、平均生活関連 QOL 得点は 31.0±5.1 点であった。

2) 岡山大学病院補綴科（クラウンブリッジ）に受診中の患者

「補綴治療に関する疑問」、「口腔内の困り事」についての記述式質問に回答が認められたのは 77 名（平均年齢 61.8±10.1 歳，男/女/性別不明：14/61/2 名）であった。全ての患者に補綴治療を受けた経験があり、76 名は抜歯経験があった。可撤性床義歯とクラウン、ブリッジの治療経験を有する患者が多かった。平均欠損歯数は 9.1 本で、岡山県老人クラブ連合会の方々と比較して平均欠損歯数は少なかった。また、平均口腔関連 QOL 得点は 44.5±12.8 点であり、平均生活関連 QOL 得点は 27.2±8.2 点であった。これらは、岡山県老人クラブ連合会の対象者の生活関連 QOL、口腔関連 QOL よりも低い傾向があった。

2. 患者の疑問の抽出

以下に抽出した患者の疑問を示す。よく似た内容に関しては、代表例を一つだけ記述した。

- 1) 岡山県老人クラブ連合会の会員を対象とした場合

<頻度>

- 入れ歯はどのくらいの間隔で調整が必要か？

<原因・リスクファクター>

- なし

<診断>

- 定期検診のときにレントゲンは撮ったほうがいいのか？何度もとる必要はあるのか？

<予後>

- 何年前に総義歯にしたが、このまま何もしなくても問題ないか？

<治療>

- なし

<コスト>

- 入れ歯を作る費用はどれくらいかかるか？
- インプラントはどれくらいの費用がかかるか？

<不確定状況での意思決定>

- インプラントは危険ではないか？

<その他>

- a. セルフケア
 - 入れ歯を磨く必要があるか？
- b. 新たな技術，治療
- c. 材料
 - インプラントにランクはあるか？
- d. 歯科医療の構造，システム
- e. 予防

2) 岡山大学病院補綴科(クラウンブリッジ)の患者を対象とした場合

<頻度>

- なし

<原因・リスクファクター>

- ブリッジの間にもものがつまるのはなぜか？
- 歯科受診していても次の歯が抜けていくのはなぜか？

<診断>

- インプラントはどんな状態でもできるのか？

<予後>

- 自分の歯はいつなくなるのか？
- 歳をとっても入れ歯にならずにいられるか？
- 入れ歯は何年くらいもつのか？
- インプラントを入れた部分の骨はどのくらいもつか？
- インプラントは何年くらいもつのか？
- インプラント治療後に歯ぐきのやせは気になることはないか？

<治療>

- 歯が抜けた後の治療は何があるか？
- クラスプを目立たなくするにはどうしたら良いか？
- インプラント治療は何回ほど通院が必要か？
- 骨密度が少なくてもインプラントは可能か？
- インプラントオペ後、咬めるまでの期間はどれくらいか？

<コスト>

- インプラント治療は高価だが、それだけの効果は認められるか？
- インプラントは保険適応にならないか？インプラントは安くないか？

<不確定状況での意思決定>

- 生まれつき上の歯が欠損しているが、これは遺伝か？

<その他>

a. セルフケア

- 歯ぐきの状態をよくするにはどのような方法があるのか？
- 歯磨き以外に自分でできるものはないか？
- 歯磨きの方法はどの方法が良いか？
- 入れ歯の管理方法はどうしたら良いか？
- インプラント治療後のメンテナンスはどうしたら良いか？
- インプラント後のケア方法はどうしたら良いか？

b. 新たな技術、治療

- 歯の再生はできるのか？

c. 材料

- クラウン、ブリッジの素材は何か？

d. 歯科医療の構造、システム

- 歯のことについて気軽に相談できる窓口はあるか？
- 希望した歯科医にかかる方法はあるか？

- 定期的検査をしてもらえるか？

e. 予防

- 将来入れ歯にならないためにはどうしたらいいか？

D. 考察

岡山県老人クラブ連合会主催の女性リーダー研修会や健康づくり介護予防リーダー養成講習会の参加者、ならびに岡山大学病院における患者群を対象にアンケートを行った結果、岡山大学病院における患者群のほうに「補綴治療に関する疑問」、「口腔内の困り事」を問う記述式質問に多く回答していた。これは岡山大学病院における患者群のほうに、現在困り事を有し歯科治療を受けている人が多いため、口腔内に関する関心が高いこと、また担当歯科医師から直接アンケートを依頼したことにより、対象者がより協力的であったことが関係していると考えられた。

患者群、非患者群ともに年齢が60～70歳代の者が多く、2名を除いたほぼ全員が歯の欠損を有していた。本研究の趣旨が、歯の欠損やその補綴治療に関する患者の疑問点を抽出することであることから、高齢者を対象にした本調査はほぼ当初の目的を果たしたと言える。一方、歯の欠損は高齢者に限定して起こるわけではないため、今後はより若い世代の患者が感じる疑問点を抽出する必要があるかもしれない。

本研究で抽出された患者の疑問

は口腔インプラント治療に関するものが多かった。口腔インプラント治療に関する疑問は、その多くが現在可撤性床義歯を使用している対象者から抽出されたことから、床義歯使用者において口腔インプラント治療に興味を持っている者が多いことがわかった。

診療ガイドライン作成に使用できるとされている PQ は、「ある疾患を持つ私が、ある治療を選んだ場合、選ばない場合/他の治療を選んだ場合に比べて、どうなるのか」と定義され、CQ に準じて、PECO や PICO といった構造を有するものとされている。すなわち、どういう治療があるか、どうしたら良いかといった総論的な疑問とは明確に区別されている。しかし、本調査結果からも明らかのように、患者から PECO や PICO のような定型化された構造を有する疑問を引き出すことは難しい。なぜなら、患者が持つ疑問は患者自身の状況や経験、知識に関連した具体的で素朴な問題であるからである。

また、一般市民や患者が感じている疑問の中には、研究方法を元に作成された「CQ のカテゴリー分類」にうまく当てはまらないものが多かった。その結果、「セルフケア」、「新たな技術、治療」、「材料」、「歯科医療の構造、システム」、「予防」の新たなカテゴリーを PQ のカテゴリー分類に追加することになった。すなわち、補綴治療や歯の欠

損について一般市民や患者が感じている疑問は、我々歯科医師が通常思い当たる補綴や口腔リハビリテーションの範疇を大きく超えて広がっていることが明らかとなったのである。このことは裏を返せば、医療消費者向けガイドライン作成のためには、我々歯科医師の考える欠損やその補綴治療といった医師・疾患中心的な医療概念 (Doctor-oriented System: DOS) の範疇にとらわれずに、患者・問題中心主義 (Patient-oriented System: POS) に則って、一般市民や患者から具体的で素朴な疑問を収集することが不可欠であると言えるであろう。残念ながら、収集された貴重な疑問は、PECO や PICO のような構造をとっていないため、疫学研究に長けた研究者によってその疑問をより文献検索にふさわしい形態にモディファイする必要がある。現在、その疑問をモディファイする客観的な方法論は十分確立されていないが、CQ を PECO や PICO の形式に定型化する手法が部分的に応用できるものと考えられた。

E. 結論

本調査は、岡山県老人クラブ連合会主催の女性リーダー研修会や健康づくり介護予防リーダー養成講習会の参加者、ならびに岡山大学病院補綴科 (クラウンブリッジ) における患者群を対象に、歯の欠損やその補綴治療に関する疑問につい

でのアンケート調査を行った。その結果、37の一般市民や患者の疑問を収集することができた。それらの質問は、一般的なCQの下位分類に用いられる「頻度」、「原因・リスクファクター」、「診断」、「予後」、「治療」、「コスト」、「不確定状況での意思決定」の内容に加えて、「セルフケア」、「新たな技術、治療」、「材料」、「歯科医療の構造、システム」、「予防」のPQ特異的な内容を含むことがわかった。

F. 参考文献

- 1) Locker, D. and Slade, G.: Oral health and the quality of life: The Oral health Impact Profile. *J. Can. Dent. Assoc.*, 59, 830-833, 1993.
- 2) Okamoto, S., Suzuki, H., Kanyama, M., Arakawa, H., Sonoyama, W., Kuboki, T. and Yamashita, A.: Reliability and validity evaluation of an oral-health-related quality of life questionnaire for patient with missing teeth. *J. Jpn. Prosthodont. Soc.*, 43, 698-705, 1999.
- 3) 中山建夫. : EBMを用いた診療ガイドライン作成・活用ガイド, 金原出版株式会社, 2004.

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
なし

I. 謝辞

本研究を進めるにあたり種々の御配慮、御援助、御助言をいただいた岡山県老人クラブ連合会の皆様、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野の荒川 光先生、縄稚久美子先生、三野卓哉先生に深く御礼申し上げます。

表1 Clinical Questionのカテゴリーと代表的な研究方法

Questionのカテゴリー	代表的な研究方法
頻度	有病率は横断研究，罹患率はコホート研究
原因・リスクファクター	コホート研究，症例対照研究
診断	比較研究（横断研究），検査特性分析
予後	コホート研究
治療	介入研究
コスト	費用効果分析
不確定状況での意思決定	決断分析

歯の欠損と治療についてのアンケート

記入年月日 _____

年齢 _____ 歳

性別 男 女 (〇をつけてください)

このアンケートは、むし歯や抜歯により失った部分（歯の欠損）を補うための「かぶせ、ブリッジ」や「入れ歯」、「インプラント治療」について、患者様が普段から疑問に思われている点をお聞きするものです。その情報をもとに、日本補綴歯科学会が患者様の疑問にお答えするためのガイドラインを作成します。

歯の欠損やかぶせやブリッジ、入れ歯、インプラントについて、歯科医師にお聞きになりたいこと、気になること、困っていることがありましたら、なるべく詳しくご記入ください。

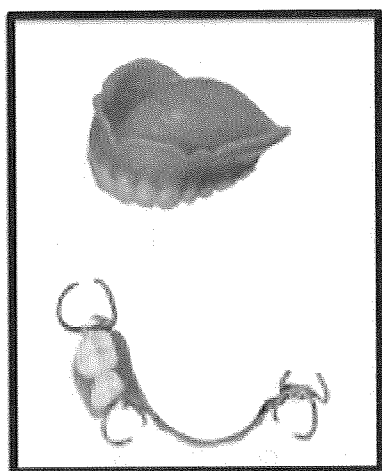
(社) 日本補綴歯科学会
診療ガイドライン委員会

1. 歯の欠損にかぶせやブリッジ、入れ歯、インプラントの治療を受けたことがありますか？

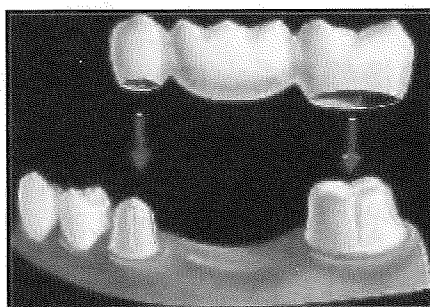
はい いいえ

はいと答えた方に

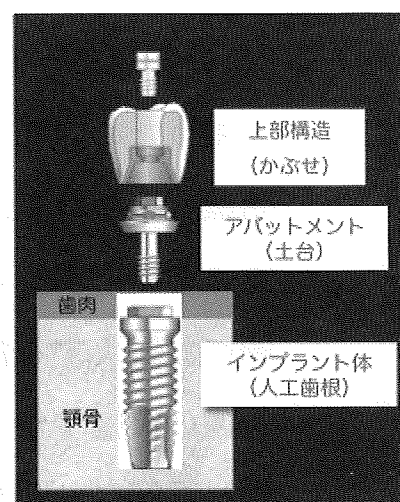
その治療は何ですか？あてはまるもの全てに○をつけてください。



入れ歯



かぶせやブリッジ



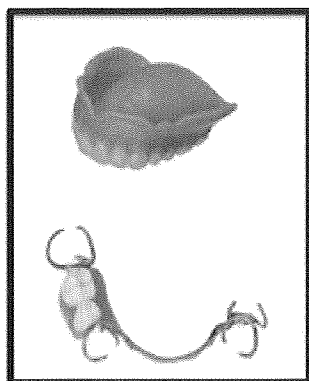
インプラント

2. 今、お口の中で一番気になっていること、困っていることは何ですか？

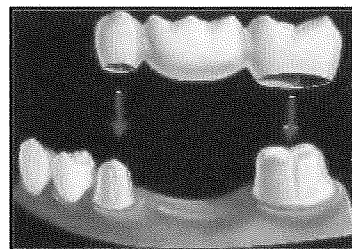
次のページへ

3. 歯を失った部分について歯科医師にお聞きになりたいこと、気になること、困っていることがありましたら、なるべく詳しくご記入ください。

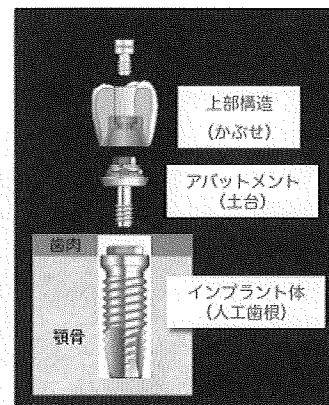
4. 入れ歯、かぶせやブリッジ、インプラントなどの治療について、歯科医師にお聞きになりたいこと、気になること、困っていることがありましたら、なるべく詳しくご記入ください。



入れ歯



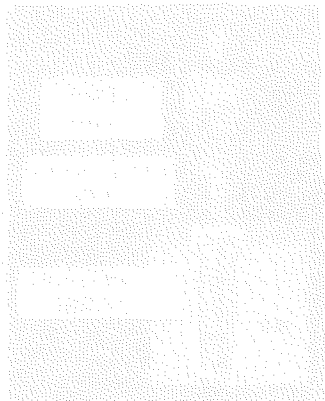
かぶせやブリッジ



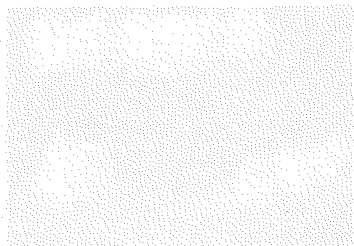
インプラント

次のページへ

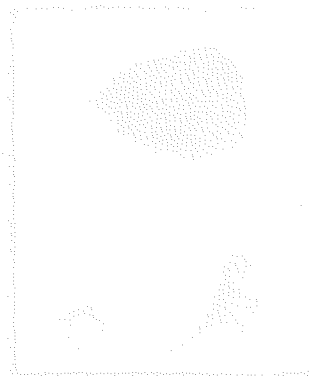
5. その他に何かご質問がありましたらご自由にお書き下さい。



水や土の物語



こいのぼりのお話



おひさまの物語

次のページへ

6. 普段の生活やお口の中の状態についての質問

次のページからの質問は、あなたの普段の生活について、またあなたのお口の中の状態についてお聞きするものです。これらをお聞きすることによって、歯の欠損や治療について疑問をお持ちの方が、実際にどれくらい普段の生活やお口の中の状態で困っておられるかを調査します。

一部内容が重複する質問もありますが、全てにお答えいただきますようお願いいたします。

〈アンケートの答え方〉

(例)

〇ここ一週間の生活全般についておうかがいします。

	頻繁にあった			まったくなかった	
気がめいることがあった	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リラックスできないことがあった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

例1のように、5つの四角のわく内に自分の思った解答のところに1つだけ大きくチェックして下さい。解答の中に自分の思った解答がない場合でも、一番近いと思った解答をチェックし**必ず**どれかに解答して下さい。以下の質問にもれなくお答え下さい。

次のページへ

〇ここ一週間の生活全般についておうかがいします。

	頻繁にあった			まったくなかった	
・気がめいることがあった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・リラックスできないことがあった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・集中力がないことがあった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・仕事をしたくないことがあった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・日ごろの生活にストレスを感じた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・何をしてもすぐに疲れた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・自分の時間がもてていないと感じた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・これからの人生に不安を感じた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・他人の目が気になった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・他人がうらやましいと感じた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次のページへ

○ここ一週間の口の中の状態はついておうかがいします。

- | | 頻繁にあった | | | まったくなかった | |
|------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ・ 食べ物を飲み込むことが難しく感じた | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 歯磨きが面倒と感ずることがあった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 人が自分の発音を理解しにくいことがあった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 発音しにくいことがあった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 口の中に違和感を感じた | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 歯が痛かった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 食べ物によっては避けるものがあった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 歯の見た目が気に入らなかった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 口の中に痛いところがあった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 歯ぐきが痛かった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 舌が痛かった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 笑うのを避けることがあった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 食べ物の歯ごたえが悪いと感じた | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 硬い物をかみ砕くことが難しかった | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 口の中を他人に見せたくないと感じた | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・ 食べ物を嚙むことに苦痛を感じた | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

次のページへ